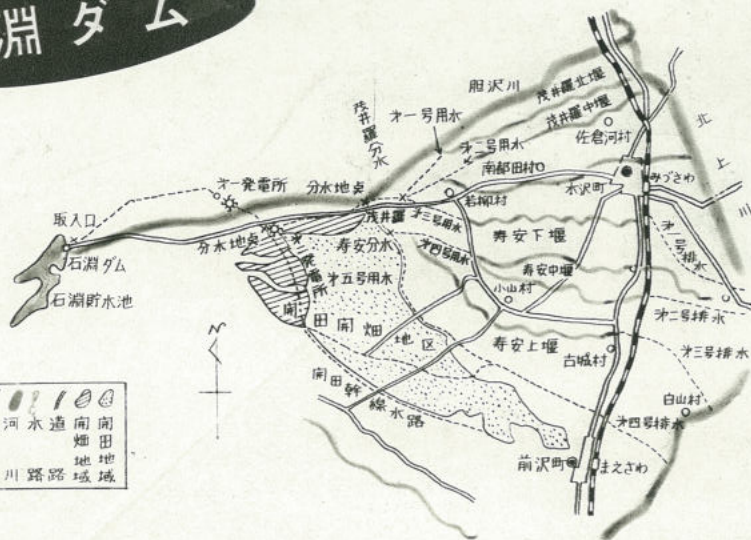


石淵ダム

型……………ロックヒルダム
 高さ……………53m
 全長……………345m
 貯水面積……………107.6ヘクタール
 総投石量……………411千m³
 洪水調節量……………毎秒300m³
 貯水量……………1,615m³

多目的施設の総合

石淵ダム



利用計画

- ↑ 完成した石淵ダム（上流から）
- ↓ 田瀬ダムの水を利用して開田する神和東部地区
- ⇄ 胆沢農業水利事業のうち、前沢町の第四号幹線水路はでき上った
- ⇄ もうすぐ完成—田瀬ダム

総合開発計画を最も経済的に、しかも効果的に行うには、施設を多目的に使うことである。1例をあげると林道1本を通すにも、それが一般道路としても大きい利用価値があり、地下資源の開発にも役立つことである。

北上特定地域の中心をなすのは多目的ダムであつて、洪水防禦、発電、灌漑などに使われる。この施設を多目的に使う方法は一般に「アメリカ式総合開発」という。

計画の大綱の第6に多目的ダムの水の配分計画があげられている。これまで述べてきたこと、重複するが 多目的ダムの概要をみよう。

石淵ダム

五大ダムの一つ。洪水調節のほか、発電（二地点で最大2万KW）灌漑に使うダムは昭和21年9月、建設省直轄工事として着工、8年の歳月と13億3千万円で去る6月30日完成した。

堤体は岩盤が弱いと戦後のセメント不足から、石塊をつみ上げたロックヒルダム（日本で最大）である。

胆沢第1発電所は電源開発会社が昨秋 11億3千万円で着工、年内に最大1万4千KWの発電所が完成する。第2発電所の建設は目下調査中。

胆沢川農業水利事業は昭和26年度から着工され、こゝに水を最大毎秒16m³が給水される。工費は6億8千万円、この工事が完成すると、旧田6千町歩の水不足と開田9百50町歩、開畑7百13町歩、畑地灌漑200町歩を行い、約2万4千石の増収が得られる。

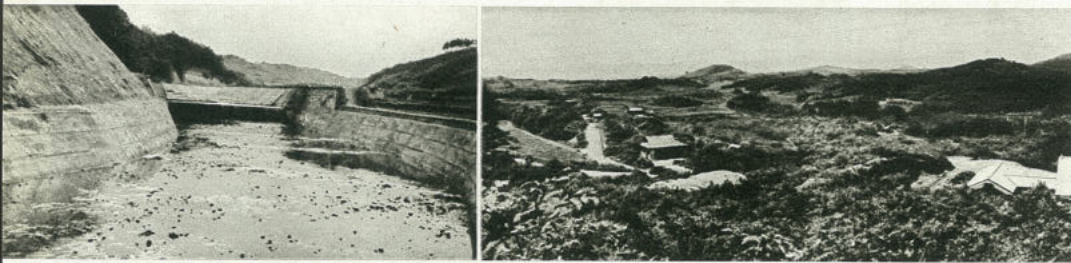
田瀬ダム

このダムは洪水調節用の5大ダムの一つである。洪水調節のほか、発電及び灌漑にも使われる。

ダムの着工は昭和16年7月であつたが戦争中に中止され、昭和25年7月に建設省直轄工事として再び着手された。総工費は28億6千万円であつて、工事はコンクリート打ちこみ量42万m³のうち6万m³を残すのみである。完成は明春の予定。

猿ヶ石第1発電所は電源開発会社が昨秋、15億円で着工、年内に最大2万7千KWの発電所が完成する。

灌漑期に水を江刺平野へ最大毎秒4.5m³ 神和平野へ最大毎秒3m³を流す。両者は猿ヶ石沿岸農業水利事業として農林省直轄工事で、今年8月、双方の取水塔から始められた。この農業水利事業は総工費16億5千万円で、旧田3千8百町歩の水不足を補い 2千4百町歩を開田し、約5万5千石の増収を得る。

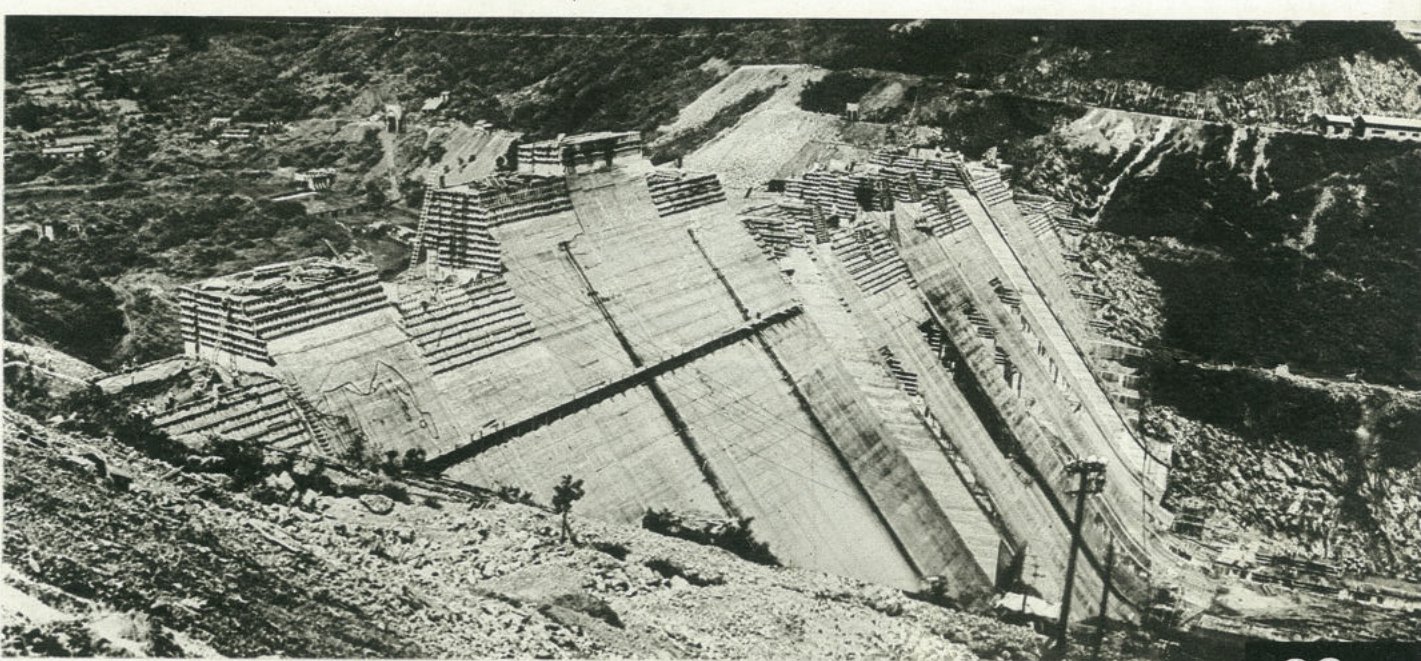


田瀬ダム



田瀬ダム

型……………重力式コンクリート高堰堤
 高さ……………81.5m
 全長……………330m
 貯水面積……………600km²
 コンクリート量……………42万m³
 洪水調節量……………毎秒2,200m³
 貯水量……………14,650万m³

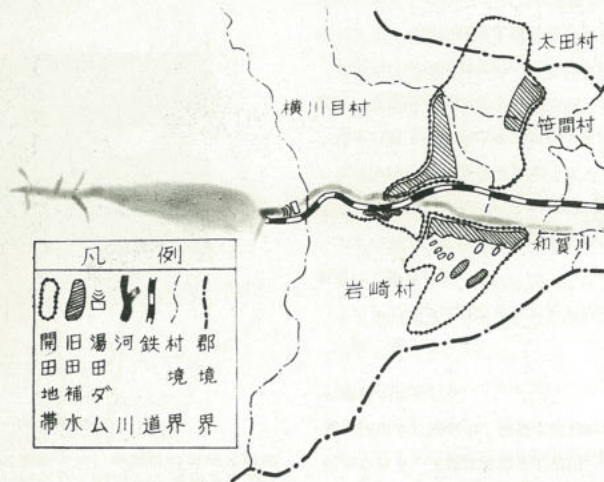




⇒ 湯田ダムの水を利用して開田する後藤野(調査事業)
 ↓ 今年から着工された湯田ダム地点(下流から)



湯田ダム



湯田ダムは「五大ダム」の1つであつて、北上川の支流和賀川につくられる。このダムは洪水調節(毎秒1,800 m³)、発電及び灌漑用に使用される。今年から建設省直轄工事として、総工費49億円で着工されることになった。本年分の工事は約4千万円で8月から本格的建設の準備を始めた。

ダムの建設事業は確定事業となつてゐるが、発電及び灌漑は調査の上実施されることになつてゐる。

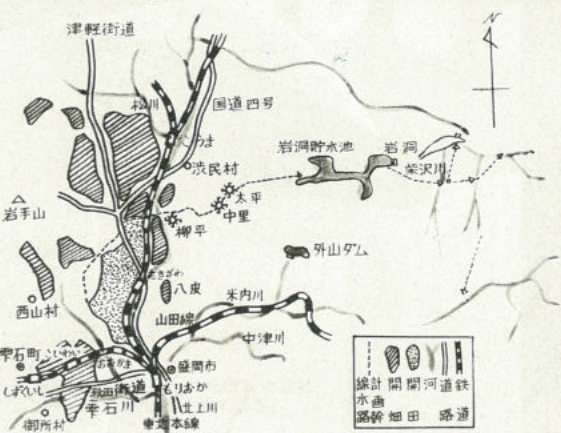
県の計画をみると、発電は最大4万3千KW、灌漑は旧田補水900町歩、開田1,740町歩、畑地灌漑1,760町歩でありその増産効果は37,000石である。

ダム建設にともない、現在の鉄道、横黒線の一部も水没するので、路線の変更計画もできつゝある。

このダムの着工は田瀬ダム、石淵ダムに次ぎ、5大ダムのうちの第3番目のものである。

湯田ダムの概要は次のとおり。

型	重力式コンクリートダム
高さ	88.5m
全長	257 m
洪水面積	6.65km ²
洪水調節量	毎秒1,800 m ³



岩洞ダム



↑ このダムを利用する県営発電水路測量(姫神山麓)
 ↓ 岩洞ダムは全く準備作業は終り、今年から本工事に
 かける(岩洞ダム地点全影)

岩洞ダムは岩手山麓大規模国営開工事業の用水を確保するために計画されたものである。北上川の最上流の支流、丹藤川につくられるが、こゝは盛岡市から自動車でも3時間を要する白樺でかこまれた高原にある。

したがつて、ダムは灌漑用水を確保するほかに、発電にも利用する多目的ダムである。

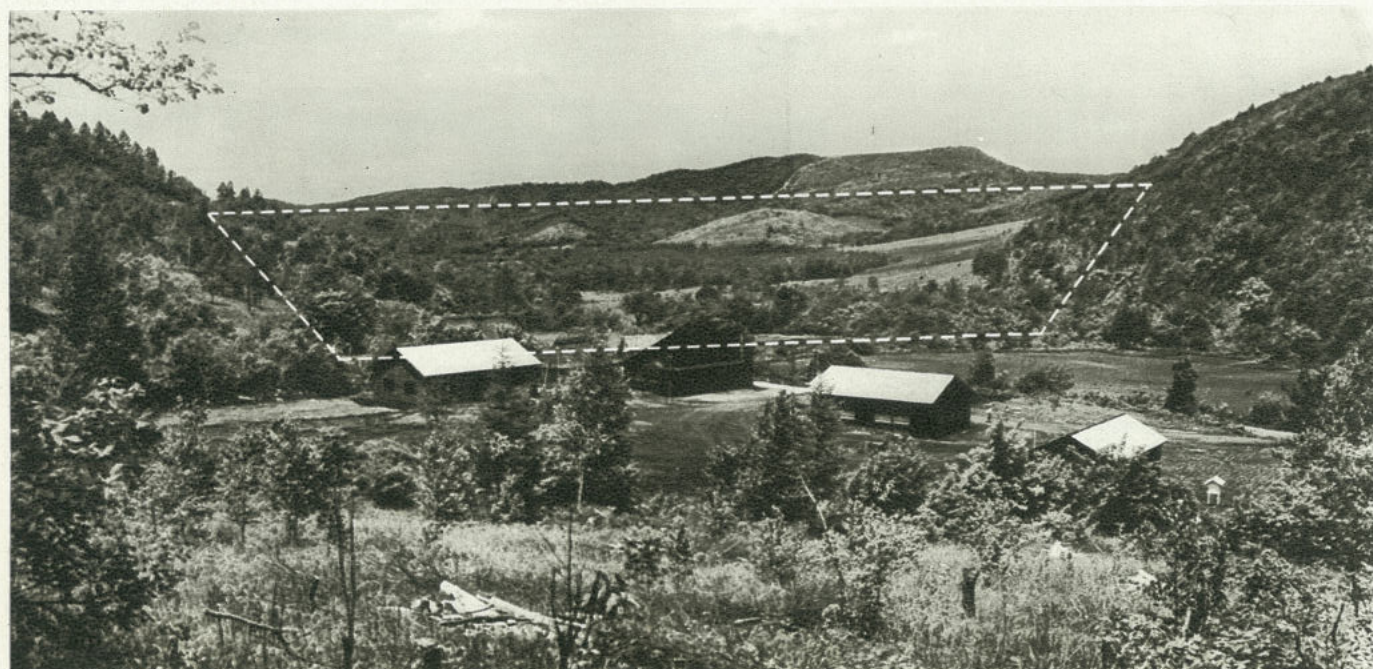
灌漑は岩手山麓に毎秒 9 m³ の給水を行う。

発電計画は最大毎秒37,000KW (3地点)である。

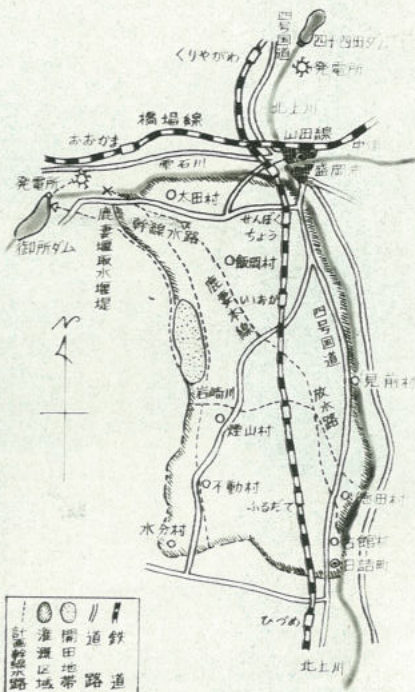
岩洞ダムの工事は昭和26年度から農林省直轄工事として着工され、基盤調査、建設用道路の改修、工事用の送電線など各準備工事が完了している。

大平、中里、柳平の県営発電はこのダムを利用して行うのであるが、5大ダムによる発電は6~9月の洪水期にはダムを空けておかなければならないので発電量も少い。そのとき、このダムはフルに灌漑用水を送る必要があり、発電も最大となる特長がある。ダムの概要は……

型	重力式コンクリートダム
高さ	36 m
全長	346 m
貯水量	90万m ³



御所ダム



御所ダム

このダムは北上川の支流、雫石川につくられる。洪水調節のための5大ダムの一つである。

調査事業であるため、洪水調節、発電灌漑への用途は今後調査の上決まる。

いま考えられているのは洪水調節のほか、発電最大10,000KW、灌漑は開田500町歩である。

ダムの概要は次のとおり。

型	土塚堤
高さ	34.2 m
全長	290 m
洪水面積	4.10 km ²
貯水量	3,440 m ³
洪水調節量	毎秒 670 m ³

四十四田ダム

このダムの予定地は盛岡市の北方にあつて、5大ダムの一つである。他の4つのダムは北上川の支流につくられるが、このダムは本流につくられる。

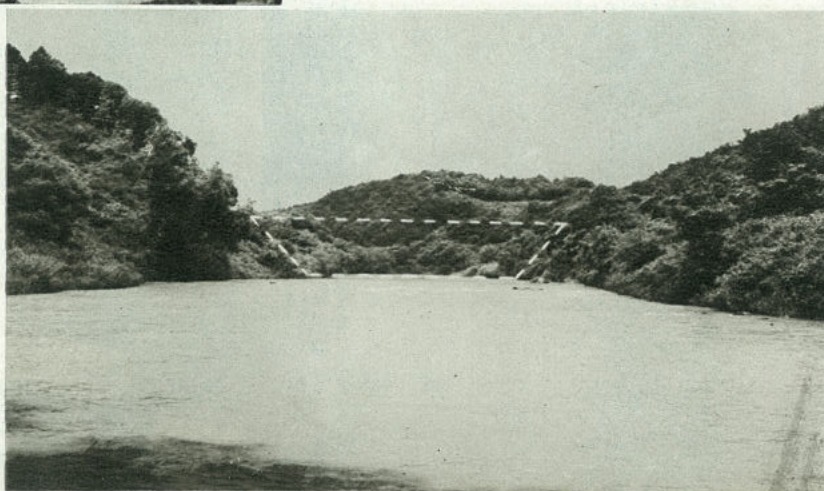
調査事業であるため洪水調節、発電、灌漑などの用途は今後確定される。

いま考えられているのは、洪水調節のほか、発電最大16,000KWである。

ダムの概要は次のとおり。

型	重力式コンクリートダム
高さ	45.5 m
全長	410 m

↑ 御所ダム予定地(調査事業)
⇨ 四十四田ダム予定地(調査事業)



四十四田ダム

洪水面積	1.17 km ²
洪水調節量	毎秒 400 m ³
貯水量	4,000 万m ³



＜観光地＞
 ▲ 啄木の生れた浪民村にある石碑
 ▲ 岩手山
 ▲ 県立公園「花巻温泉」郷の志戸平温泉プール
 ▲ 平泉「中尊寺」